

# パブリックコメントにおける対応方針

# パブリックコメントにおける対応方針

No.	意見
1	青森港から青森ICまでの経路が全て4車線化されていない状況から、物流・災害の観点においても周辺道路ネットワークの連携は不可欠であり、青森港長期構想に道路ネットワークの強化は反映されるべき。
2	広域交流拠点・広域防災拠点となる青森港～高速道路へのアクセス向上という観点は、青森港長期構想において示した方が良いと考える。
No.	対応方針(案)
1,2	青森港と高速道路IC・貨物鉄道駅とのアクセス性を高める内容について、災害・危機管理の観点での必要性を追記する。また、青森港長期構想(案)に将来の「青森港背後における貨物の流れ」を追記する。

## パブリックコメント時

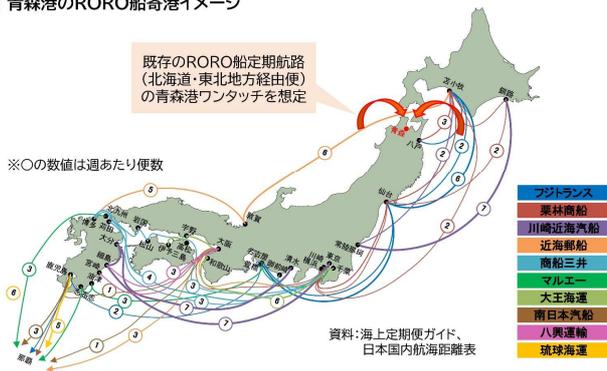
物流・産業

ROROターミナル

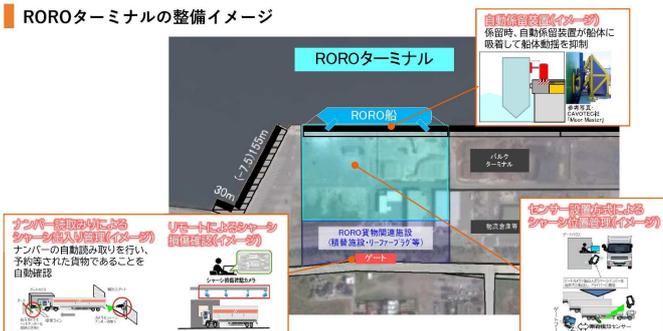
### 施策①-1 | 高規格ROROターミナル整備

- 青森港背後地域と関東・関西以西で輸送されているユニットロードの潜在貨物需要の集荷を進めることで、青森県沖合を航行するRORO船(定期航路)が、ワンタッチで青森港に途中寄港する航路の確立を目指す。(将来的には、北海道新幹線の延伸(旅客鉄道の便数増)による鉄道貨物の輸送補完機能を担うことも検討する)
- 大型化しているRORO船の船型特性を踏まえた岸壁やシャシプール等を確保したROROターミナルを検討する。ターミナル内ではICT要素技術を活用し、作業効率化を目指す。

#### 青森港のRORO船寄港イメージ



#### ROROターミナルの整備イメージ



要素技術:「敦賀港における高規格ユニットロードターミナル形成に向けた取組」(令和5年2月2日)国土交通省

## 第3回委員会

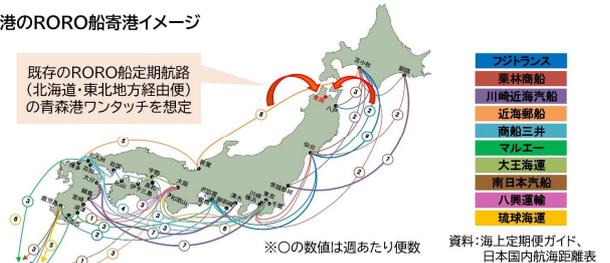
物流・産業

ROROターミナル

### 施策①-1 | 高規格ROROターミナル整備

- 青森港背後地域と関東・関西以西で輸送されているユニットロードの潜在貨物需要の集荷を進めることで、青森県沖合を航行するRORO船(定期航路)が、ワンタッチで青森港に途中寄港する航路の確立を目指す。(将来的には、北海道新幹線の延伸(旅客鉄道の便数増)による鉄道貨物の輸送補完機能を担うことも検討する)
- 大型化しているRORO船の船型特性を踏まえた岸壁やシャシプール等を確保したROROターミナルを検討する。ターミナル内ではICT要素技術を活用し、作業効率化を目指す。
- ICや鉄道貨物駅と物流ターミナルまでの陸上交通のアクセス性を高め、利便性の向上と物流コストの縮減、災害時の緊急物資輸送機能の拡充を目指す。長期的には、自動運転等の技術革新を踏まえ、幅員拡幅等の臨港道路の機能拡充を図る。

#### 青森港のRORO船寄港イメージ



#### ROROターミナルの整備イメージ



#### 青森港背後における貨物の流れ

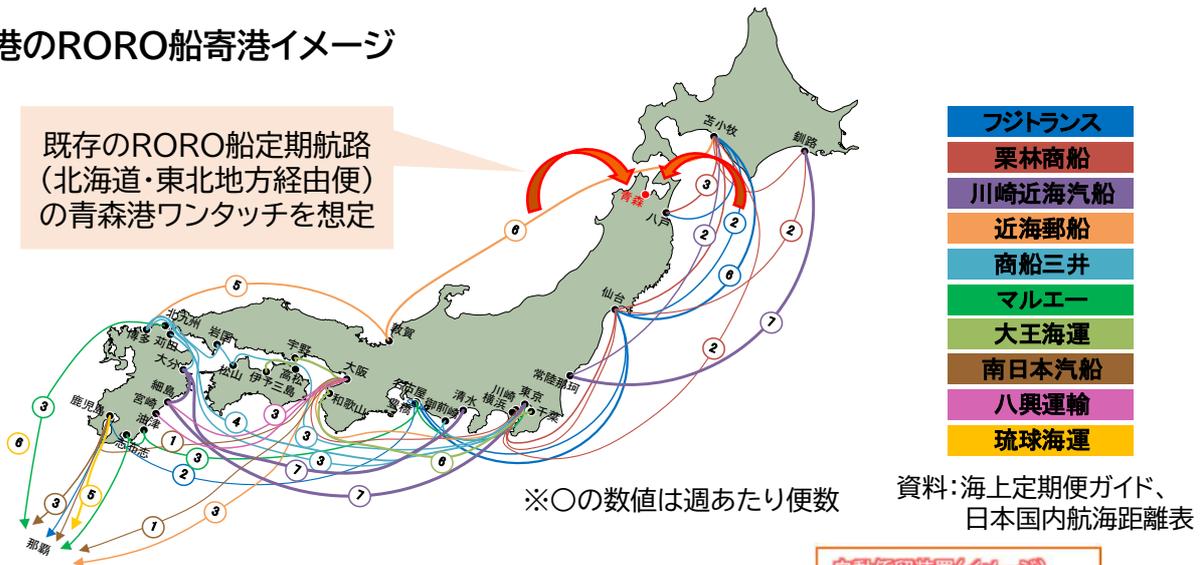


施策 ①-1

高規格ROROターミナル整備

- 青森港背後地域と関東・関西以西で輸送されているユニットロードの潜在貨物需要の集荷を進めることで、青森県沖合を航行するRORO船(定期航路)が、ワンタッチで青森港に途中寄港する航路の確立を目指す。(将来的には、北海道新幹線の延伸(旅客鉄道の便数増)による鉄道貨物の輸送補完機能を担うことも検討する)
- 大型化しているRORO船の船型特性を踏まえた岸壁やシャープール等を確保したROROターミナルを検討する。ターミナル内ではICT要素技術を活用し、作業効率化を目指す。
- ICや鉄道貨物駅と物流ターミナルまでの陸上交通のアクセス性を高め、利便性の向上と物流コストの縮減、災害時の緊急物資輸送機能の拡充を目指す。長期的には、自動運転等の技術革新を踏まえ、幅員拡幅等の臨港道路の機能拡充を図る。

青森港のRORO船寄港イメージ



ROROターミナルの整備イメージ

要素技術:「敦賀港における高規格ユニットロードターミナル形成に向けた取組」(令和5年2月2日)国土交通省

青森港背後における貨物の流れ



# パブリックコメントにおける対応方針

No.	意見
3	将来的に人口減少が予想され、今後の貨物量が不透明な状況下では、青森港でRORO施設の検討を行うより、課題が明らかになっている八戸港の整備を優先するべきである。
No.	対応方針(案)
3	統計データ(物流センサス)からは、青森港におけるRORO貨物の潜在需要が確認された。 青森港のRORO船就航は、地元が期待している施策であることから、八戸港との役割分担を明確にしながら、原案どおり進めていく。

## パブリックコメント時

## 第3回委員会

物流・産業

ROROターミナル

### 施策①-2 | RORO貨物集配送拠点の整備

- 農林水産品を中心とした青森港背後圏の貨物を集約し、小口貨物積替施設でコンテナ1本に積み替え、ROROターミナルから内航フィーダー輸送を行う。(北海道からカマドで輸送される農水産品や、鉄道貨物の積み替えも考慮する)
- 隣接したRORO貨物関連施設として、小口貨物積替施設やリーファープラグ配置の活用により大ロットの海上輸送を実現し、物流コストの縮減を目指す。
- 近隣港湾との役割分担も考慮しつつ、青森港背後圏の企業に対して幅広くポートセールスを行うことで、通年性を確保した貨物の集荷を目指す。

物流・産業

ROROターミナル

### 施策①-2 | RORO貨物集配送拠点の整備

- 農林水産品を中心とした青森港背後圏の貨物を集約し、小口貨物積替施設でコンテナ1本に積み替え、ROROターミナルから内航フィーダー輸送を行う。(北海道からカマドで輸送される農水産品や、鉄道貨物の積み替えも考慮する)
- 隣接したRORO貨物関連施設として、小口貨物積替施設やリーファープラグ配置の活用により大ロットの海上輸送を実現し、物流コストの縮減を目指す。
- 近隣港湾との役割分担も考慮しつつ、青森港背後圏の企業に対して幅広くポートセールスを行うことで、通年性を確保した貨物の集荷を目指す。

#### 農林水産品輸出環境強化イメージ



重要品目

①りんご ②りんごジュース  
③ホタテ ④コメ ⑤水産加工品  
⑥なまいも ⑦わか・が・か・すくがう  
⑧酒類

資料修正なし

青森県観光国際戦略推進本部

#### 農林水産品輸出環境強化イメージ



重要品目

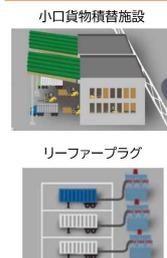
①りんご ②りんごジュース  
③ホタテ ④コメ ⑤水産加工品  
⑥なまいも ⑦わか・が・か・すくがう  
⑧酒類

資料:「青森県輸出戦略」(令和6年3月)  
青森県観光国際戦略推進本部

#### RORO貨物関連施設のイメージ



#### 輸出環境の強化:青森港

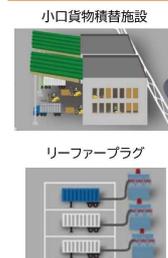


資料:「次世代高規格コンテナロードターミナル検討会とりまとめ」(令和6年3月)  
国土交通省港湾局計画課 13

#### RORO貨物関連施設のイメージ



#### 輸出環境の強化:青森港



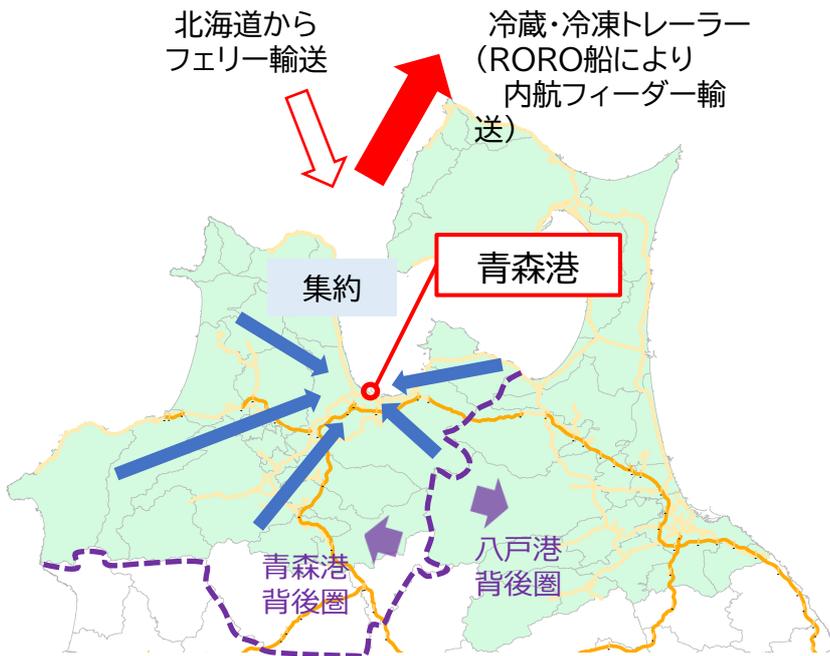
資料:「次世代高規格コンテナロードターミナル検討会とりまとめ」(令和6年3月)  
国土交通省港湾局計画課 3

施策 ①-2

RORO貨物集配送拠点の整備

- 農林水産品を中心とした青森港背後圏の貨物を集約し、小口貨物積替施設でコンテナ1本に積み替え、ROROターミナルから内航フィーダー輸送を行う。(北海道からフェリーで輸送される農水産品や、鉄道貨物の積み替えも考慮する)
- 隣接したRORO貨物関連施設として、小口貨物積替施設やリーファープラグ配置の活用により大口の海上輸送を実現し、物流コストの縮減を目指す。
- 近隣港湾との役割分担も考慮しつつ、青森港背後圏の企業に対して幅広くポートセールスを行うことで、通年性を確保した貨物の集荷を目指す。

農林水産品輸出環境強化イメージ



重要品目

- ①りんご ②りんごジュース
- ③ホタテ ④コメ ⑤水産加工品
- ⑥ながいも ⑦イカ・ガ・スクワダラ
- ⑧酒類



資料:「青森県輸出戦略」(令和6年3月)  
青森県観光国際戦略推進本部

RORO貨物関連施設のイメージ

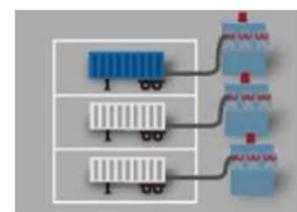


輸出環境の強化: 青森港

小口貨物積替施設



リーファープラグ



資料:「次世代高規格ユニットロードターミナル検討会とりまとめ」(令和6年3月)  
国土交通省港湾局計画課

# パブリックコメントにおける対応方針

No.	意見
4	青森港は湾内ゆえの静穏な海象で、洋上風力発電に関わる拠点港として有望なエリアであると考えられる。着床式だけでなく浮体式も考慮し、さらなる風車の大型化にも対応いただきたい。また、油川埠頭の手前の道路についても、基地港湾と一体的な利用が可能になるような計画に期待する。
5	洋上風力発電関連産業促進エリアとして約10.2haを想定されているが、他県港湾区域では更に大規模な後背地を有しており、他県港湾と差別化及び優位性はどのようにして図る想定か。大規模化、低コスト化の観点から広大な後背地を有する他県港湾に対する優位性を示すことが産業誘致に必要な要素であるとする。
No.	対応方針(案)
4	国で開催している「2050年カーボンニュートラル実現のための基地港湾のあり方検討会」等の動向を確認しながら、青森港が浮体式洋上風力発電の基地港湾としても利用できるよう、検討を進めていく。
5	青森港においては、北海道から東北の近辺に点在する、“再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域”のほぼ中央に位置する地理的な面と、湾内に囲まれた地形により、年間を通して静穏度が高いことを優位としている。

## パブリックコメント時

## 第3回委員会

物流・産業

洋上風力発電

### 施策 ④-1 | 浮体式を含む洋上風力発電設備の基地港湾の整備

- 洋上風力発電の基地港湾となる油川埠頭を候補地として、着床式洋上風力発電設備のメンテナンス資機材の取扱いに加えて、長期的には浮体式洋上風力発電設備の取扱いの可能性を検討する。
- 沖館東防波堤の港内側の静穏な水域は、洋上風力発電設備の浮体基礎の保管水域としての活用を検討する。

物流・産業

洋上風力発電

### 施策 ④-1 | 浮体式を含む洋上風力発電設備の基地港湾の整備

- 洋上風力発電の基地港湾となる油川埠頭を候補地として、着床式洋上風力発電設備のメンテナンス資機材の取扱いに加えて、長期的には浮体式洋上風力発電設備の取扱いの可能性を検討する。
- 沖館東防波堤の港内側の静穏な水域は、洋上風力発電設備の浮体基礎の保管水域としての活用を検討する。

### 洋上風力発電基地港湾の整備イメージ



### 洋上風力発電基地港湾の整備イメージ



資料:「浮体式洋上風力発電所に対応した基地港湾の最適な規模について」(令和3年10月)国土交通省港湾局

資料:「浮体式洋上風力発電所に対応した基地港湾の最適な規模について」(令和3年10月)国土交通省港湾局

施策 ④-1 | 浮体式を含む洋上風力発電設備の基地港湾の整備

- 洋上風力発電の基地港湾となる油川埠頭を候補地として、着床式洋上風力発電設備のメンテナンス資機材の取扱いに加えて、長期的には浮体式洋上風力発電設備の取扱いの可能性を検討する。
- 沖館東防波堤の港内側の静穏な水域は、洋上風力発電設備の浮体基礎の保管水域としての活用を検討する。

洋上風力発電基地港湾の整備イメージ



資料:「浮体式洋上風力発電所に対応した基地港湾の最適な規模について」  
(令和3年10月)国土交通省港湾局

# パブリックコメントにおける対応方針

No.	意見
6	青森港において洋上風力や陸上風力の大規模化・低コスト化の観点から、多数の製造業や関連産業誘致をするため、更に後背地の民有地に関して青森市と連携して促進エリアを広げることは想定されているか。
7	実際に洋上風力発電関連産業促進エリアに企業を誘致するにあたって、何かしらの優遇措置などは用意する予定はあるか。
8	洋上風力発電関連産業促進エリアの整備時期について伺いたい。企業誘致にも大きく影響するため、どのような機能を持つのか、詳しい計画を策定する時期などが知りたい。
9	今後、大型化する案件規模にどのように対応するのか。また、後背地等に関して長大物の運搬路は想定されているのか。
No.	対応方針(案)
6	現時点では、青森市と連携して促進エリアを広げることは想定していないが、意見は青森市と共有する。
7	現時点では、企業誘致に関する優遇措置を実施する予定はないが、御意見を関係各課と共有する。
8	洋上風力発電関連産業促進エリアについては、新たに整備をするのではなく、関連産業の立地を促進することで、産業クラスターと関連産業のサプライチェーンの形成を促すもの。
9	具体的な整備内容については、国で開催している「2050年カーボンニュートラル実現のための基地港湾のあり方検討会」等の動向を確認しながら、基地港湾としての利便性向上を検討していく。

## パブリックコメント時

## 第3回委員会

物流・産業 洋上風力発電  
**施策④-2 洋上風力発電関連産業の立地促進**

- 油川埠頭の背後用地を洋上風力発電の関連産業の立地を促進するエリアと位置付け、基地港湾と連携可能な産業クラスターと関連産業のサプライチェーンの形成を促す。
- 背後地域からの部材供給や組立・設置工事における作業船・漁船等(タグボート・台船・警戒船等)の利用促進を図ることで、県内全体として洋上風力発電の産業振興を目指す。

物流・産業 洋上風力発電  
**施策④-2 洋上風力発電関連産業の立地促進**

- 油川埠頭の背後用地を洋上風力発電の関連産業の立地を促進するエリアと位置付け、基地港湾と連携可能な産業クラスターと関連産業のサプライチェーンの形成を促す。
- 背後地域からの部材供給や組立・設置工事における作業船・漁船等(タグボート・台船・警戒船等)の利用促進を図ることで、県内全体として洋上風力発電の産業振興を目指す。

### 産業形成に向けた取組イメージ



### 産業形成に向けた取組イメージ



資料修正なし

### 洋上風力発電関連産業の立地事例

①洋上風力の人材育成・研究開発の場 (例:英国ハンバー地域)

②ピシターセンター (例:AOW風みらい館)

③部材工場 (例:JFEエナジー工場)

④トレーニングセンター (例:グリニッチ・ボートビル)

資料:①、②洋上風力発電を通じた地域振興ガイドブック(令和4年2月)国土交通省海陽局  
 ③洋上風力発電の導入促進に向けた港湾のあり方に関する検討会(第1回)  
 (令和5年5月)国土交通省海陽局  
 ④グリーンエネルギー・ボートビル事業(コンセプト)  
 北九州市港湾空港部 エネルギー産業振興課企画課

### 洋上風力発電関連産業の立地事例

①洋上風力の人材育成・研究開発の場 (例:英国ハンバー地域)

②ピシターセンター (例:AOW風みらい館)

③部材工場 (例:JFEエナジー工場)

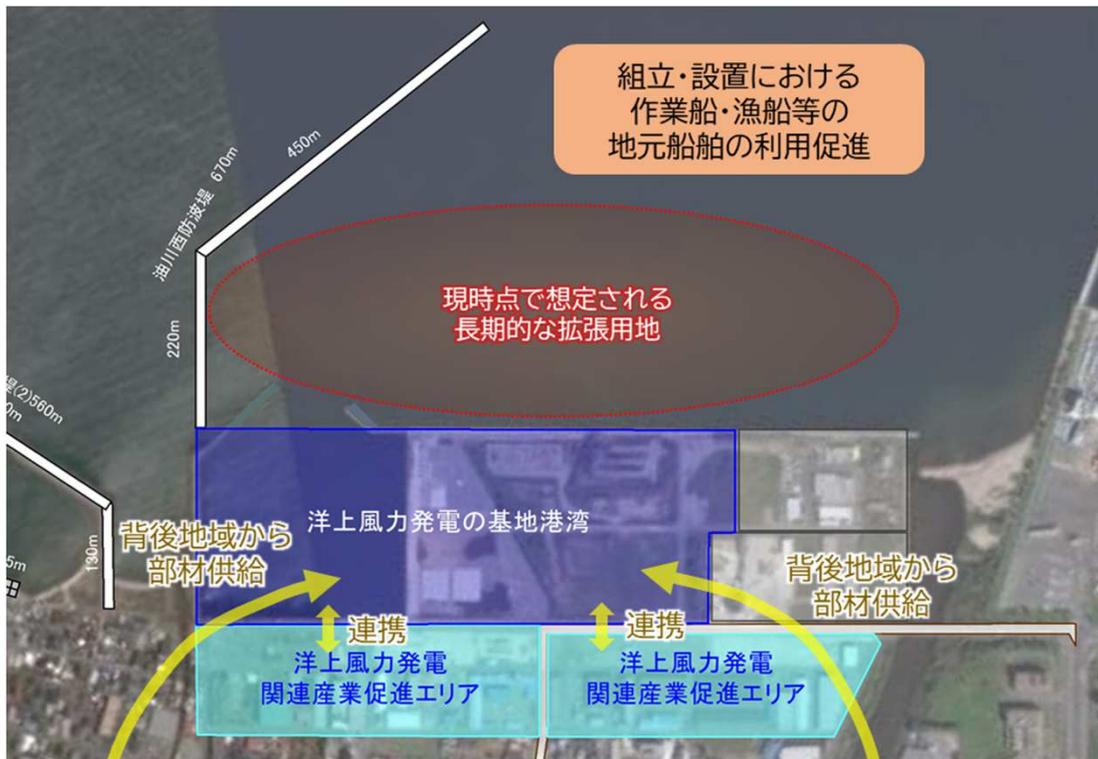
④トレーニングセンター (例:グリニッチ・ボートビル)

資料:①、②洋上風力発電を通じた地域振興ガイドブック(令和4年2月)国土交通省海陽局  
 ③洋上風力発電の導入促進に向けた港湾のあり方に関する検討会(第1回)  
 (令和5年5月)国土交通省海陽局  
 ④グリーンエネルギー・ボートビル事業(コンセプト)  
 北九州市港湾空港部 エネルギー産業振興課企画課

施策 ④-2 | 洋上風力発電関連産業の立地促進

- 油川埠頭の背後用地を洋上風力発電の関連産業の立地を促進するエリアと位置付け、**基地港湾と連携可能な産業クラスターと関連産業のサプライチェーンの形成**を促す。
- 背後地域からの部材供給や組立・設置工事における作業船・漁船等(タグボート・台船・警戒船等)の利用促進を図ることで、県内全体として洋上風力発電の産業振興を目指す。

産業形成に向けた取組イメージ



洋上風力発電関連産業の立地事例

①洋上風力の人材育成・研究開発クラスター  
(例:英国ハンバー地域)



(出所)洋上風力発電産業政策(英国産業戦略省、2019年)

②ビジターセンター  
(例:AOW風みらい館)



③部材工場  
(例:JFEモバール工場)



(出所)JFEエンジニアリング資料より作成

④トレーニングセンター  
(例:グリーンエネルギーポートひびき)



資料:①、②「洋上風力発電を通じた地域振興ガイドブック」(令和4年2月)国土交通省港湾局  
③「洋上風力発電の導入促進に向けた港湾のあり方に関する検討会(第1回)」(令和5年5月)国土交通省港湾局  
④「グリーンエネルギーポートひびき事業パンフレット」北九州市港湾空港局 エネルギー産業拠点化推進室

# パブリックコメントにおける対応方針

No.	意見
10	青森港は青森駅や中心街、観光施設にクルーズターミナルまでもが密集していて、大変魅力の多いエリアである。今まで活用されてこなかった倉庫群を新たな集客施設として生かし、青森港の魅力を更に高めてほしい。
11	青森県が経済的に生き残るには、インバウンドや観光業が大きな鍵となる。観光客の集客にSNS映えが最も大事だと言ってもよい時代のため、青森ベイエリアの青のイルミネーションを有名にして、国内外から観光客を大勢集めていきたい。
No.	対応方針(案)
10	新中央埠頭周辺においては、新たな賑わいを創出するエリアとしているため、今後施策を進めるうえで参考とする。
11	青い海公園周辺は「海辺を望むプロムナードを形成するエリア」、新中央埠頭周辺は「新たな賑わいを創出するエリア」としているため、ベイエリアのライトアップについては、関係者と意見を共有し、今後の参考とする。

## パブリックコメント時

## 第3回委員会

交流・人流

施策 ②-1

新たな集客施設の立地促進

賑わい拠点

- 本港地区では、青森駅周辺に立地する既存の集客を活用しつつ、クルーズ旅客との交流、海を望む良好な景観、海と触れ合うレクリエーションといった港湾としての強みを活かした広域賑わい拠点を形成する。
- 新中央埠頭・中央埠頭を中心に、新たな賑わいを創出するエリアを確保し、みたと緑地PPP制度の活用等も検討しつつ、季節変動のない新たな集客施設の立地を促進することで面的な賑わい空間を創出する。

交流・人流

施策 ②-1

新たな集客施設の立地促進

賑わい拠点

- 本港地区では、青森駅周辺に立地する既存の集客を活用しつつ、クルーズ旅客との交流、海を望む良好な景観、海と触れ合うレクリエーションといった港湾としての強みを活かした広域賑わい拠点を形成する。
- 新中央埠頭・中央埠頭を中心に、新たな賑わいを創出するエリアを確保し、みたと緑地PPP制度の活用等も検討しつつ、季節変動のない新たな集客施設の立地を促進することで面的な賑わい空間を創出する。

■ 本港地区の広域賑わい拠点形成イメージ



■ 本港地区の広域賑わい拠点形成イメージ



資料修正なし

■ 港湾における賑わい創出事例

○みたと緑地PPP制度の活用(神戸港(仮)新港第2突堤緑地)



○上層をリノベーションした複合施設



資料:神戸港新港突堤西部地区(仮)新港第2突堤緑地(R6.2.8)国土交通省港湾局産業港湾課

■ 港湾における賑わい創出事例

○みたと緑地PPP制度の活用(神戸港(仮)新港第2突堤緑地)



○上層をリノベーションした複合施設



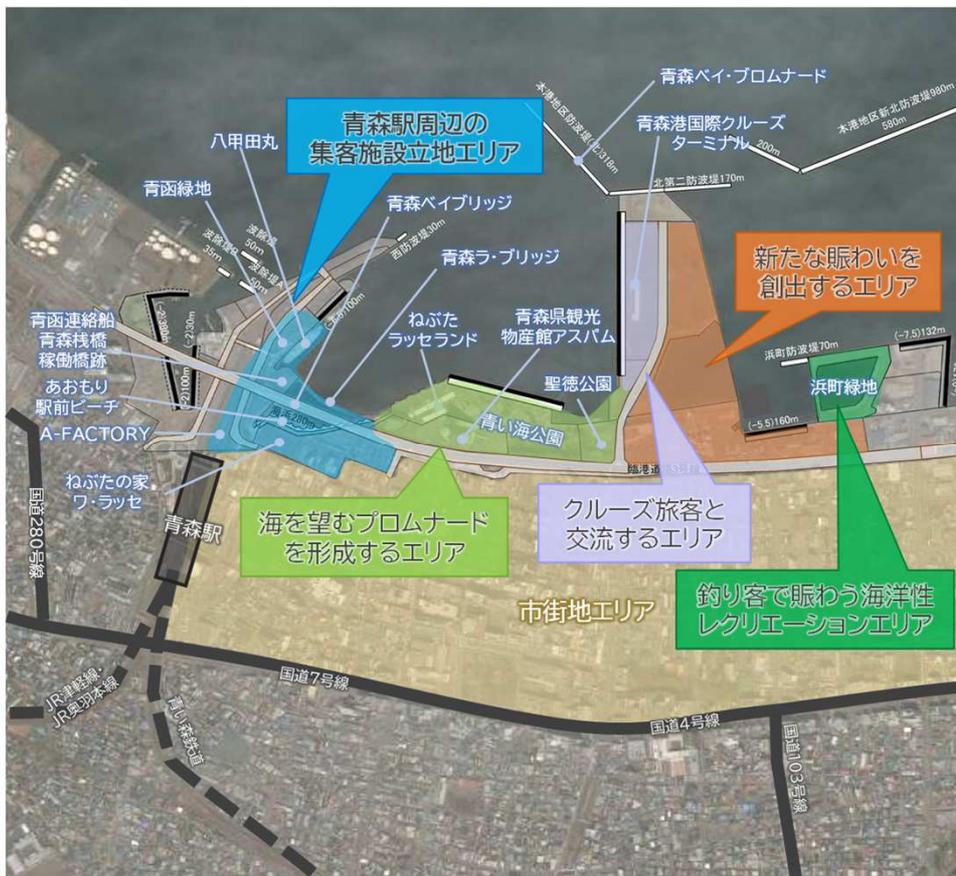
資料:神戸港新港突堤西部地区(仮)新港第2突堤緑地(R6.2.8)国土交通省港湾局産業港湾課

施策 ②-1

新たな集客施設の立地促進

- 本港地区では、青森駅周辺に立地する既存の集客を活用しつつ、クルーズ旅客との交流、海を望む良好な景観、海と触れ合うレクリエーションといった港湾としての強みを活かした広域賑わい拠点を形成する。
- 新中央埠頭・中央埠頭を中心に、新たな賑わい創出するエリアを確保し、**みなと緑地PPP制度の活用等も検討**しつつ、**季節変動のない新たな集客施設の立地を促進**することで面的な賑わい空間を創出する。

本港地区の広域賑わい拠点形成イメージ



港湾における賑わい創出事例

○みなと緑地PPP制度の活用(神戸港(仮)新港第2突堤緑地)



緑地の活用のイメージ

資料:神戸港新港突堤西地区(仮)新港第2突堤緑地(R6.2.8)国土交通省港湾局産業港湾課

○上屋をリノベーションした複合施設



写真:港湾分野における官民連携の推進(R5.2.3)国土交通省港湾局産業港湾課

# パブリックコメントにおける対応方針

No.	意見
12	駅から離れた場所に位置する集客施設には、クルーズ利用者以外も冬期のアクセスができるような機能の検討が必要である。
13	「季節の影響を受けない賑わい空間へのアクセス機能の確保」といった文言を付け加えるなど、一年を通じてアクセス機能を安定的に確保する旨、明示することを提案する。
No.	対応方針(案)
12	青森駅からのアクセスについては、デマンド交通といった利用者の予約に応じて運行する地域交通も想定される。例えば、冬期の降雪期間においては、こういった交通方法を用いて、ベイエリアを移動する方法が考えられる。
13	通年でのアクセス機能を安定的に確保する旨の文章を追記する。

## パブリックコメント時

## 第3回委員会

交流・人流

賑わい拠点

### 施策②-2 旅客の満足度向上のためのアクセス機能向上

- インバウンド増加に対応して賑わい空間のアクセス機能が高めるため、次世代モビリティ等を活用した交通手段の拡充、回遊性・連続性を確保するための親水性・景観にも配慮した遊歩道の確保、新たな車両動線の確保による交通渋滞の緩和、市街地との人流を活性化するためのきっかけづくりを目指す。
- クルーズ旅客は、バス等の二次交通を活用し、県内全域への広域展開を目指す。
- 青森港に來訪する一般旅客は、フェリーや鉄道との接続強化により、ウォーターフロントの賑わい活性を目指す。

交流・人流

賑わい拠点

### 施策②-2 旅客の満足度向上のためのアクセス機能向上

- インバウンド増加に対応して賑わい空間のアクセス機能が高めるため、次世代モビリティ等による**通年性**を確保した交通手段の拡充、回遊性・連続性を確保するための親水性・景観にも配慮した遊歩道の確保、新たな車両動線の確保による交通渋滞の緩和、市街地との人流を活性化するためのきっかけづくりを目指す。
- クルーズ旅客は、バス等の二次交通を活用し、県内全域への広域展開を目指す。
- 青森港に來訪する一般旅客は、フェリーや鉄道との接続強化により、ウォーターフロントの賑わい活性を目指す。

### 賑わい空間のアクセス機能向上イメージ



### 賑わい空間のアクセス機能向上イメージ



## 施策 ②-2 | 旅客の満足度向上のためのアクセス機能向上

- インバウンド増加に対応して賑わい空間のアクセス機能を高めるため、次世代モビリティ等による**通年性を確保した交通手段の拡充**、**回遊性・連続性を確保するための親水性・景観にも配慮した遊歩道の確保**、**新たな車両動線の確保による交通渋滞の緩和**、**市街地との人流を活性化するためのきっかけづくり**を目指す。
- クルーズ旅客は、バス等の二次交通を活用し、県内全域への広域展開を目指す。
- 青森港に来訪する一般旅客は、フェリーや鉄道との接続強化により、ウォーターフロントの賑わい活性を目指す。

### 賑わい空間のアクセス機能向上イメージ



①次世代モビリティ等による通年性を確保した交通手段の拡充検討

超小型EV

デマンド交通

グリーンモビリティ



資料: 令和3年度 先進パイロット地域の取組  
国立研究開発法人 産業技術総合研究所

②回遊性・連続性を高める遊歩道の確保  
親水性・景観を活かしたプロムナード



資料: 海辺のひろば「臨港パーク」横浜市

③交通量が増加する交差点の渋滞解消策



新たな車両動線の確保

車両増加による渋滞の懸念

④市街地と臨港エリアの人流を活性化するきっかけづくり



資料: 「まちなかウォーカブル推進プログラム」  
国土交通省

# パブリックコメントにおける対応方針

No.	意見
14	石油コンビナート(オイルターミナル)とフェリーターミナルの場所を交換できないか。危険物取扱施設が中心市街地に隣接していることは危険であり、青森駅近くにフェリーターミナルがあった方が、鉄道やバスと船の乗り継ぎがしやすく、流動人口の増加が期待できる。 フェリー利用者は、北海道新幹線開業前より増えていることも背景に、県民と観光客の危険の解消および利便性改善と、青森駅を中心とした持続可能・コンパクトな街づくりのために、是非とも実現してもらいたい。
No.	対応方針(案)
14	水素等への次世代エネルギー転換が行われた際を想定し、市街地からの離隔確保も踏まえた、エネルギー拠点の選択肢を複数検討している。 また、フェリーターミナルからのアクセスについては、次世代モビリティ等を活用した交通手段の拡充を記載しており、フェリー利用者のアクセス性向上を掲げている。

## パブリックコメント時

## 第3回委員会

環境

次世代エネルギー拠点

### 施策②-1 | 次世代エネルギーの拠点整備の検討

- 青森港はLPGや石油製品の拠点となっており、青森港で取り扱っている化石燃料の次世代エネルギー転換が見込まれる場合には、候補地を選定した上で、受入・貯蔵・供給拠点に必要な保管施設や貯蔵施設の整備を検討する。(利用調整や市街地からの離隔を考慮する必要がある。)
- 青森港で将来的に想定される事業で発生する浚渫土や維持浚渫土は、海上運搬距離による費用や環境負荷を低減するために、青森港内で土砂の受入ポケットを確保する。また、次世代エネルギー受入対応により受入可能土量が大幅に増加することから、県内他港で処分できない発生土砂の受入も進めていく。

#### 受入・貯蔵・供給拠点の整備イメージ



輸送船:「16万m<sup>3</sup>型運搬船(想定)」  
(2020年代半ば実用化目標)  
全長:約346m、全幅:約57m  
喫水:9.5m、タンク容量:16万m<sup>3</sup>

資料:川崎重工業HP  
※輸送船の情報は「港湾脱炭素化推進計画作成マニュアル」より

#### 港内発生土の受入候補地



環境

次世代エネルギー拠点

### 施策②-1 | 次世代エネルギーの拠点整備の検討

- 青森港はLPGや石油製品の拠点となっており、青森港で取り扱っている化石燃料の次世代エネルギー転換が見込まれる場合には、候補地を選定した上で、受入・貯蔵・供給拠点に必要な保管施設や貯蔵施設の整備を検討する。(利用調整や市街地からの離隔を考慮する必要がある。)
- 青森港で将来的に想定される事業で発生する浚渫土や維持浚渫土は、海上運搬距離による費用や環境負荷を低減するために、青森港内で土砂の受入ポケットを確保する。また、次世代エネルギー受入対応により受入可能土量が大幅に増加することから、県内他港で処分できない発生土砂の受入も進めていく。

#### 受入・貯蔵・供給拠点の整備イメージ



喫水:9.5m、タンク容量:16万m<sup>3</sup>

資料:川崎重工業HP  
※輸送船の情報は「港湾脱炭素化推進計画作成マニュアル」より

#### 港内発生土の受入候補地



資料修正なし

施策 ②-1 | 次世代エネルギーの拠点整備の検討

- 青森港はLPGや石油製品の拠点となっており、青森港で取り扱っている化石燃料の次世代エネルギー転換が見込まれる場合には、候補地を選定した上で、**受入・貯蔵・供給拠点に必要な係留施設や貯蔵施設の整備を検討**する。(利用調整や市街地からの離隔を考慮する必要がある。)
- 青森港で将来的に想定される事業で発生する浚渫土や維持浚渫土は、海上運搬距離による費用や環境負荷を低減するために、**青森港内で土砂の受入ポケットを確保**する。また、次世代エネルギー受入対応により受入可能土量が大幅に増加することから、県内他港で処分できない発生土砂の受入も進めていく。

受入・貯蔵・供給拠点の整備イメージ



※輸送船の情報は「港湾脱炭素化推進計画作成マニュアル」より

港内発生土の受入候補地



# パブリックコメントにおける対応方針

No.	意見
15	まちづくり団体から、「堤川は水深が浅いので、作業船の集約は無理だと思う。再考すべき。」との声が挙がっている。しかし、青森港長期構想(案)では、堤川船だまりが掲載されている。水深を踏まえて、再検討するべきと考える。
No.	対応方針(案)
15	港湾管理者としては、堤川船溜まりにおいて浚渫を行い、適正な水深を確保することで、作業船の集約を行っていく。

## パブリックコメント時

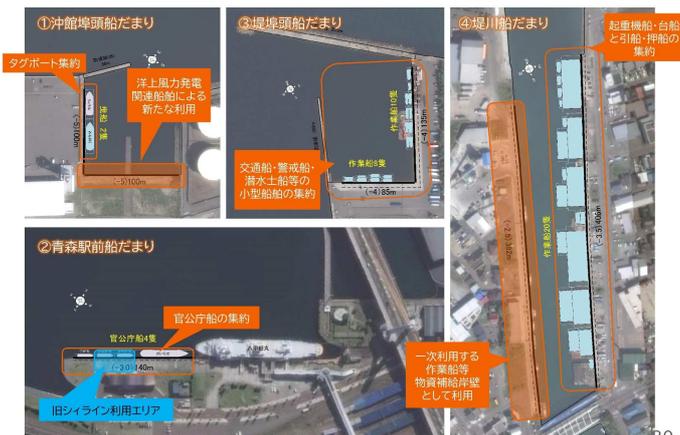
防災・危機管理

小型船適正収容

### 施策④-1 | 作業船・官公庁船用の収容施設の整備

- タグボートは沖館埠頭船だまり、官公庁船は青森駅周辺(旧シライン利用エリア)に集約する。洋上風力発電関連等の新たな需要には、沖館埠頭船だまりや堤埠頭先端部での柔軟な施設利用により対応する。
- 作業船は堤埠頭船だまりと堤川船だまりに収容する方針とする。また、堤川の左岸側は一時利用の作業船の休憩利用に対応する。

#### 作業船・官公庁船の収容イメージ



30

## 第3回委員会

防災・危機管理

小型船適正収容

### 施策④-1 | 作業船・官公庁船用の収容施設の整備

- タグボートは沖館埠頭船だまり、官公庁船は青森駅周辺(旧シライン利用エリア)に集約する。洋上風力発電関連等の新たな需要には、沖館埠頭船だまりや堤埠頭先端部での柔軟な施設利用により対応する。
- 作業船は堤埠頭船だまりと堤川船だまりに収容する方針とする。また、堤川の左岸側は一時利用の作業船の休憩利用に対応する。

#### 作業船・官公庁船の収容イメージ



15

施策 ④-1 | 作業船・官公庁船用の収容施設の整備

- タグボートは沖館埠頭船だまり、官公庁船は青森駅周辺(旧シライン利用エリア)に集約する。洋上風力発電関連等の新たな需要には、沖館埠頭船だまりや堤埠頭先端部での柔軟な施設利用により対応する。
- 作業船は堤埠頭船だまりと堤川船だまりに収容する方針とする。また、堤川の左岸側は一時利用の作業船の休憩利用に対応する。

作業船・官公庁船の収容イメージ

